

2005年の初夢

～神さまはスーパーデジタル?!～

あけましておめでとうございます

2005年がはじまりました。昨年は「[災](#)」が一年をあらわす字に選ばれましたが、今年は「明」、「楽」、「和」のような明るいイメージの言葉になるといいですね。

さて、今回は、私の考えている将来像といいますが、ITがどのように社会を変えていくだろうか、について考えていることを述べさせていただきます。

ちょっと荒唐無稽な内容ですので、初夢、ということで笑い飛ばしていただければと思います。

ICタグと防犯カメラ

このコラムの[第24回](#)でも取り上げましたが、ICタグが注目されています。

子どもの位置確認などにはとても役に立ちそうです。

その一方で、勝手に服などにICタグをつけられてしまい、行動を監視される危険性もあります。

また、最近、商店街に防犯カメラを

多く見かけるようになりました。

今はまだ個人宅に防犯カメラはありませんが、ホームセンターに行くとき家庭用も結構並んでいます。それだけ需要があるのでしょう。

そのうち、どこにいても必ずどこかの防犯カメラに映っているという事態になるかも知れません。

全てのデータが流れるインターネット

一つ一つの防犯カメラに独立に自分の姿が映っているなら、そのカメラ所有者に見られるだけ、ということで、あまり怖くありません。

しかし、現代はインターネット社会です。

カメラ所有者は、離れた所から防犯カメラの映像を見たいので、映像をインターネットに流します。

同様に、ICタグの情報、自分の子どもがどこにいるか、を知るためには、インターネットにデータを流す必要があります。インターネットにデータを流し始めて、携帯やパソコンから、子ども

の位置が確認できるわけです。

防犯カメラの主流がビデオテープに記録するタイプから、今はインターネットタイプに移っています。ICタグと防犯カメラ、この情報がともにインターネットに流れるのです。

閻魔帳はDVD?

私が小さい頃は、悪いことをすると閻魔さまに地獄に落とされるよ、と言われてたものです。

閻魔さまは、すべての人間の行動を記した閻魔帳を持っている、というような話を聞いて、私たちは悪いことをしない、よい子に育ったわけです。(笑)

閻魔帳がノートのようなものなら、どんなに分厚くなるのかと思いますが、DVDだったらどうでしょう?

さきほどのICタグと防犯カメラのデータが全部記録されているDVDです。

私たちは神さまはアナログの世界に住んでいると思っていますが、実はスーパーデジタルな世界に住んでいるのかも知れません。